

西別院 だより

特別記念号



浄縁塔

法要日程 御案内

記念法要

5月17日(土) 小樽別院創立120周年
蓮如上人500回遠忌お待受
浄縁塔落成慶讃

記念講演

大阪大学大学院教授 大村 英昭 先生

降誕会法要

5月16日(金) 小樽双葉女子学園参拝
5月17日(土) 小樽幼稚園新光保育園若竹保育所参拝
5月18日(日) 12:30 稚児行列（庭儀）
1:00 降誕会法要、初参式、法話

17日(土) 18日(日) 書道、お茶会、バザー

17日(土) 18日(日) 19日(月) の月忌参りは、お休みさせていただきます。

お陰様ご法要

輪番 藤澤 實晟



長かった冬も、ようやく終わり、青

葉若葉の候となり、心が開ける気持、然し何となく落ちつかない気風の時ですが、皆様ご健勝にて、お念仏ご相続の御事とお慶び申し上げます。冬期中小生の不摂生のため、多大の御迷惑をお懸申し上げました事に深く反省と、お詫び申します。

来春は待に待った、蓮如上人五百回遠忌法要が厳修される年です。揃って参拝させて頂きましよう。

さて当別院、一昨年末蓮如上人五百回遠忌法要のお待受記念行事も皆様のご協力のお蔭様で無事完成「表題」の如く記念法要を厳修させて頂く様になりました。

「屋根屋さん、寒い寒いとおりにく

る」東京都―出口さん

何とも思わず当り前、と思われる此の童句当り前の言葉ですが、残念ですが、忘れられている心持、子供の自然な観察力を思い出しましょう。又それ以上に平素つかわぬ言葉、馴染な文字を忘れていた昨今。特に皆さん本堂裏にある「浄縁塔」の碑 親しんで下さい。熟慮させて頂きましよう。

(別欄で 西田先生御出筆)

当別院の沿革が一目瞭然と浮かびますよ。口傳を心に抱きしめながら、御拝下さい。

「浄縁塔」内に此の度、新しいお茶室が生まれました。名づけて、「泥梨庵」^{ナイリヤン}

平成十年蓮如上人五百回遠忌を迎えるに因んで、「蓮如上人御一代

聞書」第五十八丁(原文)に

「たれのともがらも、われはわるきとおもふもの、ひとりとしてもあるべからず。これしかしながら、聖人の御罰をかふぶりたるすがたなり。これによりて、一人づつも心中をひるがえさずばばながき世 泥梨(ないり)にふかくつむべきものなり。これというも、なにこそぞなれば、真実に佛法のそこをしらざるゆへなり。」

※泥梨(ないり) 梵語で地獄を意味

する

意訳

「どんなひと、自分自らを「悪人」と思うひとは、ひとりもないものである。しかしながら、真実の佛法を聞き、この思いを翻さなければ、ながく地獄に深く沈むものである」

とあるところから名づけられました。この茶室を利用されるにあたって、今一度しっかりと自分自身の真実の姿(地獄は一定住みか)を知らせて頂くとともに、そういう姿の私だからこそ、阿弥陀仏の本願のあることのありがたさを共に喜ばせて頂きたいものであります。

合掌



祝 浄縁塔落慶をお祝い申し上げます

人にやさしい街づくり。

創業1610年



TAKENAKA

竹中工務店

北海道支社

〒060 札幌市中央区大通西4丁目1番地
TEL260-2261

祝 浄縁塔落慶をお祝い申し上げます

株式会社 久米設計

代表取締役社長 櫻井 清

〒135 東京都江東区潮見2-1-22 TEL(03)5632-7811

取締役支社長 岸 亮二

札幌支社/〒060 札幌市中央区北1条西4-2

札幌東邦生命ビル TEL(011)241-4791

新骨堂(浄縁塔)の

落成について



小樽別院責任役員総代

小紙文隆

宗祖親鸞聖人降誕会の慶祝行事が行われますともう春が真つ盛りです。今年には特に新骨堂(浄縁塔)の落成祝賀も併せて実施されるわけでありませんが、そのうえ来年の蓮如上人五〇〇忌法要お待ちうけの前年でもあるという非常に意義のあるものであり誠に有り難いことです。浄縁塔は大へん暖かく近代的な設備となっており久米設計の誠実な設計により竹中工務店の堅実な施工は我々としても安心して子や孫に伝えて末長く引き継がれていくことでしよう。これも藤沢輪番を始めとして急逝されました前渡辺総代さん他皆さんの熱心な暖かい御協力の賜にはかなりません。更めて謝意と敬意を表したいと強く思う次第であります。浄縁塔は仏事の他茶道生け花等の行事にも利用出来ます。お参りのしやすい環境整備をして皆さまのお越しを待つわけですが浄縁塔の意義を味合いながら仏縁の歓びを知りたいに皆さんのご利用を期待したいと念願します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新総代就任

宮本英子様

平成8年10月23日付

記念講演



講師

大阪大学大学院教授

大村英昭氏

おむら・えいしろう氏 昭和十七年生、大阪府生まれ。京都大学文学部哲学学科卒。現在、大阪大学大学院教授、放送大学客員教授、浄土真宗本願寺派教学研究所教授、同派圓龍寺住職。主な著書に『宗教時代への挑戦』『現代人の宗教』『逸脱の社会学』『宗教のこれから』など多数。

— 降誕会、稚児行列、初参式 —

参加のお願い

別院では例年の如く「しんらん」聖人のご誕生をお祝いする降誕会(五月十八日)12時30分より稚児行列にはじまって賑々しくおつとまりになる法要にひきつづき、初参式を行います。稚児行列に参加して頂く・お稚児さんと初参式に参加して頂く赤ちゃんを募集しています。奮ってお申し込み下さい。

※問い合わせ先

小樽別院 電話二二一〇七四四番

祝 浄縁塔落慶をお祝い申し上げます

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り

TEL (0134) 23-1309 (代)

祝 浄縁塔落慶をお祝い申し上げます

おかげさまで創業222年 京都店開店102年



京仏具

小堀

札幌店/〒064 札幌市中央区南7条西8丁目1番19号

☎(011)512-5171(代) FAX(011)512-5183

本店/〒600 京都市下京区烏丸通正面5上

☎(075)341-4121(代) FAX(075)341-4128

東京店・練馬店・福岡店・京都工場(小堀京仏具工場)・滋賀工場
インターネットホームページ <http://www.taihei.co.jp/kobori/>

「浄縁塔」

について

本願寺小樽別院本堂の裏手に、「浄縁塔」という文字が刻まれている碑が、ひっそりと佇んでいるのをご存知でしょうか。高さ一メートルほどの「稍」丸味を帯びた茶灰色の自然石、裏面には大正十一年八月建立と刻印され、七十余年の春秋を重ねた蒼然とした趣きを呈しております。

いろいろ調べた結果、これは沢山の無縁仏を葬った供養塔ではないかということがわかりました。

ご承知のように小樽別院は、安政四年(一八五七年)に建てられた、小樽最古の寺院です。従って別院は、小樽の開拓発展と深い関係をもってきた歴史があります。

練を追って一攫千金の夢を見ながら、北辺の嵐の波間に沈んで果てたやん衆たち、鉄道道路、河川、水源などの難工事で働かせられ事故等で落命した、哀れな土工夫や朝鮮人たち、金曇町や住之江町の紅燈の巷で、わが運命を悲しみな

がら病魔に斃れた薄幸の遊女たちこれらの人々の中には、出所不明、親兄弟縁者も知れず、無縁仏として葬られた数は決して少なくはなかつたようです。

小樽別院では、歴代輪番はじめ関係者一同故人の人種・門地・宗教宗派等にとらわれることなくひきとり、手厚く供養したと伝えられています。そして、墓地であった本堂裏手の斜面に、檀徒の墓に混って埋葬されたと思われまふ。

またもう一つ、本堂と庫裡の間、親鸞聖人銅像のうしろに、長方形の黒ずんだかなり大きな碑があるのを、ご存知かと思えます。これには「南小樽駅員殉職忠魂碑」と刻印され裏面には、大正十一年八月建立と記されており、浄縁塔の裏面の日付と一致しているところから、二つの碑は同時に建立されたものと推定されます。

南小樽駅に勤務しておられた古老の方々の伝承に依れば、小樽の中心街が稲穂町方面に移動した関係から、大正九年(一九二〇年)七月、駅名を小樽駅から南小樽駅と変更、その規模や機能を縮小し、駅員も転任等で離散してしまいま

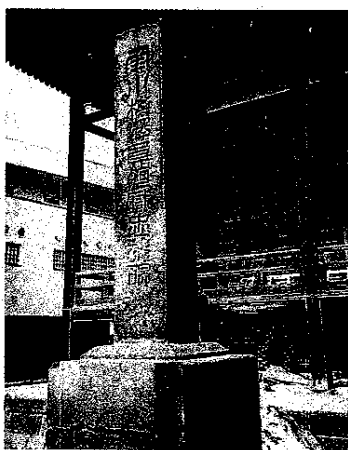
した。ところが、苦楽を共にした朋輩たちの絆は強く、この時点の一つのけじめとして、鉄道の仕事で殉職した職員、名もない土工夫や朝鮮人に思いを馳せ、この二つの碑の建立を発願したのと言われております。当時の鉄道省からの援助金に、南小樽駅員、元駅員、家族会などからの浄財が之に充てられたと言われています。

当時の関係者の心優しい計らいと、小樽別院のそれを暖かく受け入れた仏心は、永遠に語り継いで行きたいものです。

小樽別院門徒

西田 正 信氏

口伝記



総代御逝去のお知らせ

小樽別院総代宮本勇三様には、平成9年3月22日御逝去されました。生前中、別院護持発展の為御尽力賜わり有難うございました。謹んで、お悔やみ申し上げます。

合 掌

“百日参拝のお知らせ”

今年も例年の如く晨朝百日参拝を行います。皆様お誘い合わせの上御参拝下さいませ。

☆5月1日(木)～8月8日(金)
毎朝6時半から一時間程度です。

特に申し込みなどは必要ありません。
お気軽にお参りして下さい。